



〒530-0043 大阪市北区天満1丁目6番8号 六甲天満ビル801
管理職ユニオン・関西 TEL(06)6881-0781 FAX(06)6881-0782

管理職ユニオン・関西 28回定期大会開催

一にも二にも組織拡大！行動する執行部をめざす！



11月23日午後2時からエルおおさか南館で開催されました。司会から開会宣言がされ、仲村執行委員長から挨拶が行われました。来賓の挨拶は、大阪府労働環境部からと、釜ヶ崎地域合同労組からありました。

その後、N執行委員、日本フッ素工業のY組合員が議長に承認され進行しました。

大会資格審査は選管のFさん、Hさんから大会成立の報告があり、続いて活動報告案が仲村委員長から、会計決算報告

は会計、監査報告はBさんから行われました。質疑応答では、専従を辞めるT氏への保証金予算案をめぐって意見がありました。

活動方針案は大橋書記長から、予算案は会計から提案があり、争議中のスクールTomasのMさん、ワールドリンクのKさん、クスリのアオキのYさんの報告の後、採択されました。

続いて第3号議案の「ストライキ権確立提案」、4号議案の「役員・執行委員立候補者の紹介」があり、選管から両議案の投票説明がおこなわれ休憩に入りました。

機関誌へ投稿ください!!

争議解決した時、団交を終えた時点での報告と会社への感触、近況報告、エッセイ、趣味や家族のことなど。お待ちしております。

投票結果は、スト権が全員賛成、役員・執行委員投票も全員信任の結果報告がされました。新執行委員会を代表して増永副委員長が挨拶をしました。大会宣言（別掲）を大橋書記長が読み上げ採択、議長退任の後、森井新執行委員が「団結がんばろう」を三唱しました。

2023年～2024年度の新執行部と会計監査は以下の通りです。

執行委員長： 仲村 実（再任）	執行委員： 立石 望（再任）
副執行委員長： 増永 幸秀（再任）	執行委員： 松尾 貴光（新任）
書記長： 大橋 直人（再任）	執行委員： 森井 壽廣（新任）
書記次長： 野口 知恵（新任）	執行委員： 藤本 隆志（再任）
会計： 小林 直文（再任）	
執行委員： 伊藤加奈子（再任）	会計監査： 金中 正雄（新任）
執行委員： 鈴木 一憲（再任）	会計監査： 山形 康則（再任）

ご出席の来賓

稲垣浩さん（釜ヶ崎地域合同労組）

大阪府商工労働部労働環境課

メッセージをいただいた労働組合、諸団体

北本法律事務所／きょうとユニオン／神戸ワーカーズユニオン／コミュニティユニオン
全国ネットワーク／下町ユニオン／せんしゅうユニオン／東京統一管理職ユニオン／名
古屋ふれあいユニオン／連合福岡ユニオン／ユニオン岡山／労働組合ネットワークユニ
オン東京／ユニオンみえ



大会宣言

資本主義体制が今まで通りにやっつけなくなっています。

国連は調整機能すらなくなっています。ウクライナでの戦争も、イスラエルによるガザ爆撃も終結の見通しも立たず、多くの人々を殺しています。

日本では政府と資本家が、福島原発の爆発・放射能まき散らしを体験しながらも原子力発電の再稼働・汚染水を海洋へ放出しています。長年にわたって沖縄の民意を無視し続け新基地建設強行、その周辺の島々への自衛隊基地とミサイル配備、防衛費の大増加での武器購入、戦争体制へ向かっています。健康保険証廃止・マイナンバーカードによる管理・監視の強要も進められています。中小零細企業の淘汰、非正規雇用の拡大政策、その結果が労働者や人々の生活難と困窮者が増える自公政治が続いています。

資本家は必要な時に労働者を引き寄せ、不要になれば簡単に首に出来る雇用政策の法制化を進めてきています。非正規労働者の割合は全労働者の4割に迫ろうとしています。タイミーや類似の職業紹介業者を介在させたスポットワーカーも、ウーバーイーツ配達員やアマゾン配達員など「雇用類似の働き方」と言われるプラットフォームワーカーも急増しています。

2024年4月からは、先送りされていた運転労働者の残業規制が実施されます。低賃金であるが故の長時間労働の実態を変える闘いが必要です。他方で兼業・副業の推進という形での労働時間規制の骨抜き化も進められています。

23春闘での賃上げも物価高などに追いつけていません。官制の最低賃金は上がったものの労働者の生活改善は進まず、中小零細企業者破壊は進んでいます。

時代的には労働組合の果たす役割が高まっています。全米自動車労働組合の協約改定要求でストライキ闘争が長期に闘われ、成果を上げています。世界的に見れば労働運動は活発化しています。日本においては、連合傘下の大企業内組合は力を失い、産業構造の変容や労働条件決定の個別化と相まって、衰退著しい状態です。西武池袋百貨店で会社売却に抗議の1日のストライキがマスコミに取り上げられました。

集团的労使関係の弱体化の中で1980年代後半から登場したコミュニティユニオンも実質的には個別労使紛争の解決が主で、労働運動の再建と組織化を担うことにはなっていません。私たちもその例外ではありません。また、産業別労働運動は関生への弾圧など集中的な弾圧で苦境に陥っています。

厳しい総括を踏まえ従来方針を確認し、執行部、組合員が組織化に力を注ぐことを確認してその実行をすることを誓い、大会宣言とします。

2023年11月23日

管理職ユニオン・関西第28回定期大会

新執行部挨拶・抱負



執行委員長 仲村 実

執行委員長になって3年目になります。長年労働運動をやってきて、社会変革とその理念と観点は変わりませんが、組織化の難しさを実感しています。

1980年代に始まり期待をされて、学者の方々からも個人加盟のユニオン運動が全国を網羅して新しい潮流になる可能性が大いに語られました。管理職ユニオンも1993年に東京で結成されてから、リストラ時代とマスコミ取材で破竹の展開を見せました。その後伸び悩み、ユニオン運動そのものが財政難と後継者難に見舞われ、なかなか展望が見いだせない状況になっています。

管理職ユニオン・関西の全盛期は、組合員が250名で3名の専従者がいました。この5年間程は組合員の減少傾向が続きました。この時期私は、労働者事業と期待して新しいユニオンへの挑戦として女性の専従書記長を迎えました。残念ながらいずれも失敗しました。

改めて、堅実な組織化に乗り出します。財政も厳しいため、1.5人分の専従費を私と大橋さんで分けてやります。この1年間で大橋書記長がゼネラル支部を完全に撤収することになります。二人で引っ張るつもりですが、組合事務所によく顔をだし、相談・団交を取り仕切る執行委員になってもらいます。

時代は、資本主義の矛盾があちこちで発生しています。世界を見れば、ウクライナ戦争、ガザへの爆撃、戦争終結の目途が立っていませんし終結させようとする動きもありません。他方でアメリカの全米自動車労働者の協約改定のストライキ闘争が闘われました。日本の政治も右往左往して、労働者や人々に寄り添いません。

月並みのことですが組合員の皆さんが体験したこと、労働組合はいろんなことができるいいものだということを周りに広めてもらいたいです。私は元組合員の希望者に機関誌をメール送信しています。そういう人からの紹介もたまにあります。組合員の皆さんが、管理職ユニオン運動の発展と賃上げなど労働条件を改善させるため組合活動への参加をお願いする次第です。

副執行委員長 増永 幸秀

今期も大会で副執行委員長に選出を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。今年には私にとって良い一年となりました。

酷かった営業系から現業系へ配置転換について納得できず、5回の団体交渉を経て営業系事務職に戻り、その解決から5年を経過しましたが、会社から過去の精算と考えられる昇進と大幅な昇給の待遇改善がありました。

その観点からは、会社と和解できたと感じております。自身を振り返って思うことは、仕事で幾多の苦難を味わい冷飯を食らいましたが、今となっては感慨深い喜びの実感があります。

経験的に言うと会社との紛争状態を解消できる過程は、精神的にも肉体的にも並大抵のことではなく、誰しものが突然起こり得る明日は我が身の大変な出来事でした。

しかし、私の頃の団体交渉は皆様に声をかけ、回を重ねる度に参加者が増え、ご協力を頂いた応援参加者が多くなり10人を超えてくるようにもなり、すごく心強かったのを覚えています。やはり、会社にやられたらやり返す闘える労働組合は社会的にも必須なのです。

コロナウイルスが収束した昨今、組合員が友となり仲間で結集する力で団結しながら、管理職ユニオンは手強い強固な労働組合だと世間に広く認知されるように組織を維持することは勿論のこと、厳しい環境に置かれている今だからこそ組織を拡大させなければならない局面であることに間違いはありません。

自身の仕事が忙しくなってきましたが、組織が発展することを願って組織運営に寄与したいと考えております。

デモ・争議や団体交渉を組合員個々が初心に戻り助け合い、リアルに管理職ユニオンの看板を訴求しましょう。

書記長 大橋 直人

管理職ユニオン・関西の課題は組織拡大とそれを通じた財政の立て直しです。今年はこの課題に正面から取り組んでいきたいと思っております。

組織拡大については、第1に、相談が来るのを事務所で待っているスタイルでは



なく、積極的に外に打ち出していくことを考えています。その手始めとして、ビッグモーターで働く労働者の組織化に乗り出すことになりました。その他、タイミーなどスポットワークの問題にも取り組み始めています。第2に、執行部を中心に職場での組織化の働きかけを強めていきたいと考えています。職場で複数化していくことによって、労働組合としての本来の役割である労働条件の改善にも取り組んでいくことができると思います。第3に、ホームページやSNSなどを通じた宣伝の強化、ティッシュ配布など地道な宣伝の継続を通じて、飛び込みの相談も増やしていきたいと考えています。そして、なによりも、一つ一つの問題について、執行部を中心に組合員みんなで正面から取り組み、闘うべきところで闘うことが大切だと思います。そうしてこそ、組合の活気が出てくるし、多くの人が集う組合となり、組織拡大にもつながっていくと信じています。

財政問題については、長期的には以上のような組織拡大の取り組みによって、解決の目処を付けていきたいと考えています。もっとも、すぐさま組織拡大が実現し、必要な収入を確保できるは考えていません。ですので、短期的には支出を切り詰めていく必要があり、人件費・事務所費等の固定費の削減はやむを得ません。

私はこれまで連帯ユニオンと管理職ユニオン・関西の二足の草鞋でしたが、今年度は比重を管理職ユニオン・関西に移して取り組んでいくことにしています。全力で課題解決に取り組む所存ですので、1年間よろしくお願いします。

書記次長 野口 知恵

書記次長に信任していただき、感謝申し上げます。今期は大橋書記長の補佐として、組合の運営に携わり、組合員の皆さんの意見や要望を聞き、組合活動に積極的に取り組むことで組合の発展に寄与したいと思います。具体的な活動としては、映画会やおしゃべり喫茶などの交流イベントを企画・実施し、YouTube やツイッターなどで組合の情報発信を行うことで、組合員の皆さんや社会にもっと組合の活動を知ってもらえるように努めます。もちろん、団交や街宣などの労働闘争の支援も積極的に行っていきます。これらの活動を通じて、組合の魅力や存在感を高めるとともに、組合員の皆さんの権利を守り、組合員同士の連帯感や団結力を強化していきたいと思います。

近年、物価高騰などの経済環境や Amazon 配達員などの社会的課題が浮上するなかで労働組合の役割が再び重要視されています。私は今後の方針として、非正規労働者や請負労働者の組合員層を拡大し、組織化することで、労働者の要望を吸収し使用者と対等に闘う組合として社会的な影響力を持つことができるように組合活動していきたいと考えています。組合員の皆さんと力を合わせて、これまで築いてきた組合の歴史や伝統を大切にしつつ、組合の新しい未来と展望を切り開いていきたいと思いま



す。組合員の皆さんから頂いた信任に応えられるよう、精力的に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

会 計 小林 直文

先月の定期大会において会計に選任されました。3度目の就任となります。

この2年間、赤字決算が続いています。今期の予算案も前期ほどではないものの、黒字の転換には至らず、やはり厳しい状況を余儀なくされています。打破する方法は組合員が増える事が一番であります。以前ほどは労働運動に対する関心が薄れている傾向があり、その実現は簡単ではないと言えます。

とは言うものの、いざ職場で問題を抱えた時に頼りになる場であり砦となるのはやはり労働組合になりますので、その砦は維持させなければなりません。

会計としては、これまで以上に経費の精査をする事は必須として、財政の基盤である組合費の入金状況を把握し、その安定に努めようと思います。

もちろん所得の減少や失業等の原因によって組合費の支払いが困難な状況になっている組合員の方々もおられますので、その点は配慮して減免等の措置を行っております。皆さまのご協力を頂きたいので是非よろしくお願いいたします。

職場で理不尽な扱いを受けている組合員の方々が、それぞれの職場に対する闘争に専念出来るように、そのためには繰り返しにはなりますが財政の安定が必須であります。それを肝に銘じて、この1年間、務めようと思いますので何卒よろしくお願いいたします。

執行委員 伊藤加奈子

この度、第28期 定期組合大会にて、引き続き執行委員に再任いたしました伊藤です。管理職ユニオン関西でお世話になってから早いもので3年が経ちました。

さて、昨今の外部環境についてフォーカスしますと、多様性を受容しながら目まぐるしく変化していく社会において、1度入社した会社で定年まで勤めていけるような安定雇用の時代は終わり雇用自体が不安定な時代となりました。こういった時代の中で私たちが安心して日々の生活を送るためには、同じ価値観を持った仲間を増やし、



団結して労使と交渉に臨み、結果を出すことだと考えます。安定的な生活を手に入れるには最初のステップとして働きざかりの若い世代に、労働組合の必要性を理解してもらう事、また労働環境を取り巻く様々な問題や課題について解決に導ける策がある事を広く周知し続ける事が大切であると思います。さらにメンタルケアが必要なケースにおいては迷ったときの道しるべやふと立ち止まったときの心の拠り所を管理職ユニオン関西だと労働者の皆さんに言ってもらえるような

活動を展開したいと思います。新体制のもと、気持ちを新たに、この1年頑張りますのでご指導・ご鞭撻のほど よろしくお願いします。

執行委員 鈴木 一憲

今回執行委員に選出頂きました鈴木です。私が当組合に入会して20年以上になります。

会社から退職勧奨を受けて当組合に入会しました。昨年5月に定年になり今再雇用で働いています。コロナも落ち着き、日常生活も戻りつつありますが、円安、石油の値上がり等で物価が高騰し、一部の大手企業だけの労働者の給料が上がり、一般の企業の労働者の給料は上がりません。政府も無策無能で労働者の負担はますます増えるばかりです。今こそ労働者が力を合わせて改善していかななくてはなりません。その為には労働組合が力を付けなければなりません。でも全国的には組合員が減少しています。管理職ユニオン関西も同様組合員が減少しています。力を付ける為にはやはり組合員の人数を増やす事が必要です。今後、新体制の中、微力ではありますが、組合員を増やす活動、他の労働組合との共闘関係において活動していきたいと思います。

また、以前のような活気のある組合にしていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

執行委員 立石 望

この度は、執行委員に再任して頂きまして誠にありがとうございました。

新年度の抱負と致しましては、やはり組合員の減少化に歯止めをかける為の活動が、最重要だと考えています。

即効果を出すには、困難だと思いますが組合「パンフレット」を行政窓口継続的に置ける様にするなど、各職場にて「労働問題」が発生したら即「ユニオン」に相談というように結びつくような、正に「組合存在感」を確実にしたいと考えます。

また、「組合活動」のネックとして深刻なことは、各職場にて「組合存在感」を根付かすことが、非常に困難であるということです。その内容として、各職場の労働者が「組合活動」を意識することが、「恥ずかしい」ことだと感じる風潮がどこかにあるように思えることです。

このような風潮を打破する為には、誠に「地味」かつ「着実」な組合活動の継続から、各職場に「組合存在感」を発信し続けることしかないと考えます。

以上のようなことを念頭に、当該組合活動の今年の「最重要テーマ」としたいと考えます。



執行委員 松尾 貴光

今回の定期大会で新しく執行委員になりました松尾です。信任頂き有難うございます。

私はこれまで製造業などで主に働いてきましたが、そこで理不尽に感じる点も多く経験してきました。例えば、他に原因があるのに、製造部の責任にされたり、有給休暇の取得が難しかったり、不明確な給与制度などです。そして実際に現場で働く労働者の意見が反映されないことなどです。こうした経験は、きっと困難な状況に置かれた組合員の皆さんの気持ちを理解することに役立つと思います。

現在の労働環境は大きな変化の中にあります。物価の高騰や円安、AI の進化による無人化促進など、雇用における危機感も感じています。また、労働組合には、労働三権の行使が認められていますが、それが組織的な威力業務妨害とされるなど、労働組合の活動が阻害されている状況が起きていることです。

このような社会環境や労働環境の中で、労働組合の組織率の低下や労働組合の役割への疑問も感じられます。そこで、私たちは労働組合のメリットをもっと広く周知させる必要があると思います。そして一労組だけでなく他の労働組合との連携も積極的に進め、共通の理念を見つけ出し、結びついていくべきだと思います。集団的な運動を展開することも必要です。

私自身も前向きな意識を持ち、これまでの経験を活かしながら、執行委員としてより一層、そのような運動を目指し、労働組合の活動に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

執行委員 森井 壽廣

今般あらたに執行委員を拝命しました。

次世代の執行委員が SNS を争議に際して切れ味よく使いこなせる環境を広報させていただくためのワンポイントリリーフだと自身では任じております。

かつてニフティサーブというパソコン通信を開始したのが1993年、その後Window95の登場とともにインターネットを黎明期から体験しました。当初は電子掲示板でしたが、ブログの最盛期までを7桁ブロガーの端くれとして経験し、累積トラフィックは300万カウントを越えています。Twitterでは岩上安身が8千フォロワー時制で、私は2千300フォロワーぐらいでさまざまな階層の方と交流し不思議なエンゲージメントを形成しました。Facebookではジャスミン革命世代の末席としてどこまでネット言論なるものが機能しているのかを分析しながら観察してきました。

当時新日鐵住金湖南製造所でのパワハラ争議では班ごと不当な整理解雇を喰らいましたが就労先の班内ではただ私のみ単騎でこれに異議申し立て地域ユニオンの支援を受けて団体交渉を申し入れ、これもブログ等を駆使した反撃や街宣ビラ配布のコ

ーディネートで当時想定される最高額で勝利的和解決着した経験も通過してきています。

いまはその時制のスキルとユニオンの争議の連携で非正規アルバイト塾講師の資格ながらも、年商300億円規模教育産業であるリソー教育＝スクールTomas（東証プライム上場）とひるむことなく争議しながら旧勤務先清風南海、羽衣学園にも要請行動をしむけ圧倒的なポスティングとビラで包囲、裁判闘争においては被告企業側顧問弁護士を解任に追いこむまでの互角の闘いを維持しています。企業側は国内最大級登録弁護士560人を擁するアンダーソン毛利友常法律事務所から3人もの弁護士を送りこみ予断を許さない事態ですが。この教訓と現状知り得たかぎりでの争議交渉の経過で実行した流儀について御関心をいただけるようであれば、ぜひとも組合員の皆さんとも共有していただきたいと願っております。見かけられましたらご遠慮なくお声かけていただければと存じます。

執行委員 藤本 隆志

執行委員再任ありがとうございます。4月に再就職が決まったのも束の間、8月で退職する羽目にあいました。

昨年2月に発達障害だった事が分かったので障害者手帳を取得後、就労移行支援施設で再就職を目指して訓練していましたが障害者雇用での再就職は出来ず、一般枠での応募で採用されたのですがすぐに結果を求める企業で職場に合いませんでした。

今年は昨年3月から今年3月まで約1年間の再就職活動の経験から、寺尾さんの監修で障害者雇用の問題点について機関紙に掲載いたしました。身体障害者の若い人はすぐにでも欲しいが精神障害者はいらぬ、中高年はさらにいらぬという差別が特例子会社を中心に行われている企業があります。

関西地区は一般の求人でも若年層を欲しがると関東地区に比べて強く、中高年の障害者を採用する前提になっていない事が問題です。

来年は安定した再就職を決めると同時に、継続して障害者雇用の問題点を発信したいと思います。あと組合員の相談にもっと取り組みます。

.....

組合活動に参加を！ 協力していただける方を募集しています。

- ① 機関誌編集者：集まった記事に、見出しを付けカットを挿入し編集する。
- ② 機関誌連載記事担当者：時事問題、エッセイ、川柳などを書いてもらう。
- ③ レクレーション担当者：ハイキングの計画、呼びかけ、案内をしてもらう。

障害を理由とした不当な扱いを認めず、もと職復帰に向かって団体交渉スタートしました

組合員 K・M

私は、阪神動力機械に入社以来、20年以上管理部門で勤務してきました。

4年前から上肢下肢の身体障害を抱えていましたが、他の従業員と同様に働いていました。

ところが、病状が再発し、今年4月から4ヶ月間の入院生活を余儀なくされました。

入院当初は、電話やメールで業務の引き継ぎを行っていました。当時は、退院後は元の職場に復帰できると考えていました。

しかしながら、入院中に社長から「会社に連絡してくるな」など差別的で心無い言葉を投げかけられました。私はこの言葉に深く傷つきましたが、病状が良くなることと職場復帰する意欲だけは保とうと思ってました。

案の定、退院後の入社初日に職場から私の机が撤去されており、降格及び減給を伴う人事異動を命じられました。異動先は全くの未経験業務であり、業務内容も決まってません。決まっていたのは、在宅勤務だけでした。

この人事異動は、障害を理由とした不当なものと感じ、会社に異動を受け入れられないことと配慮の提供を求めましたが、会社は聞く耳を持つようとしませんでした。

とりあえず、労働基準監督署をはじめとした国の行政機関や弁護士に相談することにしました。これらのアドバイスを受け、会社からの回答が鈍くなったことをきっかけに、管理職ユニオン・関西に加入することとなりました。

労働組合の仲村委員長は、豊富な経験と知識を活かして、会社との交渉をサポートしてくれました。おかげで、11月21日に、団体交渉を行うことができました。団体交渉では、①元職の復帰について②復帰後の合理的配慮の提供について協議事項としました。

組合側は、仲村委員長、3名の組合員、私の計5名が出席しました。会社側は、3名の出席がありました。

団体交渉が始まるまでは、不安感がありましたが、仲村委員長の経験ある交渉力と共に徐々に安心感に変わっていきました。

会社側は、私が単独でやり取りしていた頃と違い、団体交渉では態度を軟化しており、労働組合加入がなければ会社との対話の機会さえなく、態度が硬直したままだったと思います。

最終的に、1 週間以内に主治医面談の日程を調整すること。主治医面談に基づき、会社は元職復帰に向けて検討し、団体交渉を再度行うところで終わりました。

管理職ユニオンに加入したことによって、会社と交渉することができたと感じています。会社は、団体交渉で対話する姿勢を見せていましたが、時折、私の過去の発言や考えを歪めて引用して、事実と異なる主張をしてくることもありました。引き続き、気を引き締めながら職場復帰に向けて頑張っていきます。

また、組合員の皆さんの温かい応援に、心から感謝しています。

訃報 岡田伸一さんが無くなりました。73歳でした。

岡田さんの奥さんから喪中はがきがきたので、電話をしました。5月25日に亡くなられたとのことで、家族での葬儀でしたとのことでした。

岡田伸一さんは、組合加入が1999年11月11日で、現組合員でいうと4番目の古株でした。少林寺拳法の道場で子どもたちに教えている話もよく聞きました。

組合恒例の春闘御堂筋デモでは、宣伝カーの運転を引き受けてくれました。

本格的に団交をしたのは、ドライバーで(株)桂通商(本社は京都市南区)の舞洲青果センター内にある舞洲営業所勤務の時でした。職場では過去の未払い賃金要求と、就業規則は見たことがなかったので閲覧とその内容の改定に取り組みました。

2014年には、団交を組合事務所で5, 6回行っていきます。未払い賃金は、労働審判に持ち込み審判での和解(2014年12月)としてほぼ満額の金額を勝ち取った記録が残っています。

私の手帳に残っている記録では、今年の3月19日の春闘デモの日に岡田さんから電話があり、病院からの電話で「ケイタイはOKです」とのこと結構元気そうな声でした。1ヶ月後の4月19日には再度電話があり「603号室に入った」との連絡を受け、病院の面会許可が下りたら再度電話するとのことでした。それ以降連絡がありませんでした。

6月9日付の奥さんからの封書で、「主人は、仲村さんがいる間は、自分もユニオンに残るといつも申しておりました。でも残念ながら、体調がおもわしくありません。長い間お世話になりありがとうございました。」と、脱退の連絡を受けました。この時、すでに亡くなられていたのです。

岡田さんはあまり派手さはありませんでしたが、組合の行動には協力してくれた組合員でした。5~6年前に結核で十三病院に入院している時に見舞いに行ったことがあったことを思い出しました。

長年の組合活動への協力ありがとうございました。安らかに。

執行委員長 仲村実

組合員交流会/映画鑑賞会

「ラスト・クリスマス」(原題:LastChristmas)

日 時：12月23日(土) 午後2時半から2時間程度

場 所：組合事務所

(おしゃべり喫茶のクリスマス企画の一つとして映画を鑑賞します)

〈解説・あらすじ〉

ラスト・クリスマスという作品は、ワム！の同名の楽曲にインスパイアされた映画で、ジャンルでいうとロマンティック・コメディです。しかし単なる恋愛映画ではなく、この映画は、現代のイギリス社会におけるさまざまな問題にも触れています。

それで重苦しい話になるわけではありません。笑いと涙と驚きと感動のバランスが絶妙な作品です。そのなかで人種や文化の違いを超えた人間の繋がりを主人公の日常の異民族が暮らす生活空間から描いています。主人公のケイトは、ユーゴスラビアからの移民の娘で、自分のルーツにコンプレックスを抱えています。

彼女は、クリスマスショップで妖精エルフの格好をして働きながら、自堕落な生活を送っています。そんな彼女が会うトムは、アジア系のイギリス人で、自分のアイデンティティに誇りを持つ人です。彼は、ケイトに対して常に優しくて気遣いができる理想的な男性ですが、何か秘密を隠しているような素振りも見せます。二人は、お互いの背景や価値観を尊重し、理解し合うことで、深い絆を築きます。また、この映画は、イギリスを騒がせているブリグジット（EU離脱）や移民排斥問題、その他、格差の拡大、LGBT問題を背景に描いています。ケイトの家族や友人たちもそれぞれに悩みを抱え苦しんでいます。

ケイトは、トムのおかげで、自分の周りにはいる人々が人種や文化、性的指向などに関係なく、自分自身の人生を生きていることに気づき、それぞれの考え方や価値を認めるようになります。

この映画は、観客に感動とともに、自分の生き方や社会のあり方について考えさせるきっかけをくれます。そして、ワム！の名曲が流れる中で、クリスマスの奇跡を体験することができます。あなたも組合事務所でこの映画を見て、みんなでご過ごすクリスマスを忘れられない思い出にしませんか？

製作2019年、米、103分、監督 ポール・フェイグ、製作：デビッド・リ
ビングストン、エマ・トンプソン、ポール・フェイグ他、配給：パルコ



QRコードを読み取って頂きますと、この映画の予告編をご覧になれます。➡

久しぶりの年末“事務所”忘年会 案内

コロナ禍で控えていました忘年会、今年は事務所でやります！

日 時 12月22日(金)18時30分から
場 所 組合事務所
参加費 1000円

